

第2回飯田市社会福祉審議会児童福祉分科会（飯田市版子ども・子育て会議）
第2回飯田市次世代育成支援対策地域協議会 議事録

日時 令和4年9月27日（火）10:00～11:15

会場 橋南公民館（りんご庁舎3階）会議室1・2

出席者（委員）：原会長、森山委員、松村委員、牧内委員、宮沢委員、黒河内委員、宮下委員、小池委員、岡田委員、西村委員、村松委員、湯本委員、藤本委員、菱田委員

（事務局）：高山健康福祉部長、後藤子育て支援課長、牛山子育て支援課課長補佐兼施設管理係長、小澤子育て支援課課長補佐兼保育係長、蓑和子育て支援課課長補佐兼こども家庭応援センター所長、関島子育て支援係長、飯島家庭係長、板倉産業振興課産業人材係長

（司会）：飯島家庭係長

1 開 会

2 児童福祉分科会長あいさつ

今日いただいた資料で見ていただきたいものがあります。当日資料No.3をご覧ください。真ん中に人口数を書いてあります。平成30年から令和4年まであります。私がいつも問題にしているのがこの部分です。これからの飯田市の発展にこの数字重要な意味を持っていると思います。今日はたまたま資料に数字がでていたので、よくよくご覧いただきたいと思います。人口が減少していくと、飯田市の経済や文化、個々の生活に大きな影響を与えることだと思います。なんとか増やすように、少なくとも維持することを皆で考えないとよくなっていかない。市役所にお任せではなく、住民が考えていかなければならないことと思います。今日の議題にあります、いくつかの私立保育園が認定こども園化することは子育て支援をより厚くして人口を増やすための一つのいい方法であると思うので委員の皆さんにはご理解いただけるとと思います。なかなか、一般の人と話す自分とは関係ないといった話もありますが、人口が増えるように皆で知恵を出し合って行動を起こしていくような社会になればいいと思います。

3 健康福祉部長あいさつ

新型コロナウイルスの感染は南信地域については更に下がらない状況が見え隠れしている。これから、冷えても来るのでお互いに健康管理には気をつけて参りたいと思うのでよろしくお願いします。

本日は、原会長からご案内いただきましたように、認定こども園化の申請が多くあったのでご審議をいただくこととなります。少子化の中で、各園の空部屋を使って保育要件のない3歳以上を預かることで、未満児のお子さんを養育するご家庭を支援する。合わせて、小さいお子さんを長時間保育園に預けなくてもいいようにサポートするといったモットーをもって、認定こども園化を公立保育園はしてきました。その中で、各私立保育園についても様々な幼児教育、あるいは保育ニーズの多様性に対応するために検討をしていただいていると思います。

今日は、それぞれ事務局より説明させていただくので、お聞きいただいて実際に審査するのは市ではありませんが、市から意見を県に上げなければいけないので、その内容についてご審議をお願いします。大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。

4 協議事項

(1) 私立保育園の認定こども園の認可申請（移行）について

ア 令和5年4月1日に「保育所」から「保育所型認定こども園」へ移行
飯田仏教保育園ほか6園

イ 令和5年4月1日に「保育所」から「幼保連携型認定こども園」へ移行
風越保育園ほか1園

(小澤子育て支援課課長補佐兼保育係長より当日配布資料No. 1～3の説明)

意見質問事項

A委員	総括的意見の3歳未満児の保育ニーズを一定程度抑制できるというところで、家庭保育を推奨しているように読み取れるがどのように考えているかお聞きしたいです。
事務局	家庭での選択の幅を広げることが目的であり、家庭での保育を推奨するものではありませんので、表現につきましては修正させていただきます。
B委員	当日配布資料No. 3の1(1)③就学前児童数の令和4年度のところが合計で4,193名、(3)①将来の保育需要が令和4年度4,402名となっています。推計ではあると思うが、約200人も増えている予想が立っているが実際こんなにくのでしょうか。
事務局	当日配布資料No. 3の1(1)③4,193人については実績値、1(3)①4,402人については、子育て応援プランの中にありまして庁内で総合計画を策定している部署で将来の人口推計を作ったものになります。 あくまで作成時の推計値として、みていただければと思います。
B委員	当配布資料No. 3の1(3)①で令和4年の0歳の680人が令和5年の1歳は699人で増えているが、令和6年の2歳は695人に減っているのはどうしてでしょうか。
事務局	転入や転出、自然動態を加味して推計したものになると思いますので、増減がある形となっております。
C委員	自分の経験から0歳で子供を入れないと1・2歳で募集の枠が減ってきます。当日配布資料No. 2で、例えば飯田仏教保育園で0歳の定員が24人、1歳の定員が42人で18人の募集があり、2歳の定員が42人で1歳と同じため全く募集がないという理解になりました。他の園を見ても狭き門になっているように見えます。今回、3・4・5歳について支援が厚くなっているが、0・1・2歳についての支援は飯田市としてどのように考えているでしょうか。 また、利用案内の中でならし保育の利用について大々的に書かれており親側、保育士側とすれば徐々に慣らしていくのが一番いいのはわかるが、人によっては慣らし保育をする余裕がない人もいたので、個々に寄り添うのが地域支援の一番大事なところではないかと思いますが、飯田市としてはどのように考えているかお聞

	きしたいです。
事務局	民間施設の施設整備の際に受け皿の拡充をお願いすることや、事業所内保育所や家庭的保育所のような子ども・子育て新制度によって創出された運営方法について支援をしていきたいと考えています。また、慣らし保育については、すぐにでも保育が必要な家庭もあるという意見があったことを毎月行われている公立園長会、私立園長会で情報共有させていただきたいと思います。
C委員	施設をこれから整備して対応していくということですが、未満児だけの施設を作るといった計画はないということですか。
事務局	具体的な計画は示していませんが、3号認定の受け皿を整理するものとして、民間施設を整備する場合には積極的に支援していきたいと考えています。
C委員	1号認定のお子さんを預けることができる園が増えると選択肢が広がるので有難いと思います。一方で2歳児の需要が多く、年少に上がるときに新規で入れるのは2、3人という場合があるということをお聞きします。 認定こども園になると1号認定の希望者が増えると思います。その中で2・3号認定は市で選定していて、1号認定は園で選定していると思うが、バランスをどのようにとっていくのか教えてください。
事務局	飯田市の特色として、0・1・2歳児は母親が職場の近くに預けたいニーズが多く、3歳以上児から同じ小学校に上がる友達と一緒に保育園に預けたいニーズが、子育て応援プランのアンケート調査から読み取れます。そのため、全員がそのまま3歳児に上がるわけではなく、市内の保育園、認定こども園に分散されている状況です。1号認定で定員がいっぱいで2・3号認定が受け入れられない場合は、入所調整の中で、個別に対応させていただいております。
C委員	必ずしも1号認定優先というわけではありませんか。
事務局	その通りです。
D委員	意見書の総括的意見というところですが、終わり方がデータと客観的な分析で終わっているのを市としての意見を入れて欲しいと思います。また、ニーズを抑制するという表現について、プラスの表現でまとめたほうがいいと思いました。
事務局	いただいたご意見を基に修正して提出いたします。
E委員	保育料が上がったり保護者の負担が、増えたりすることはありますか。
事務局	物価高騰のため園ごとに厳しくなった部分について副食費が上がる可能性はあります。保育料等は、基本的に現行のままとなります。

5 その他

6 次回開催予定 日時：令和5年1、2月頃予定

7 閉会